

令和2年度 決算報告

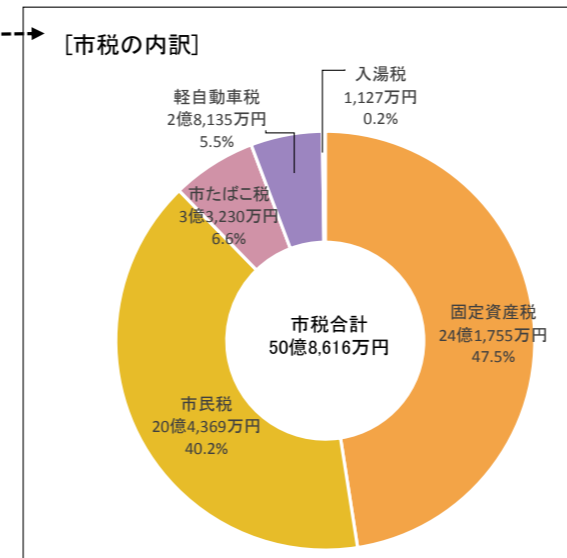
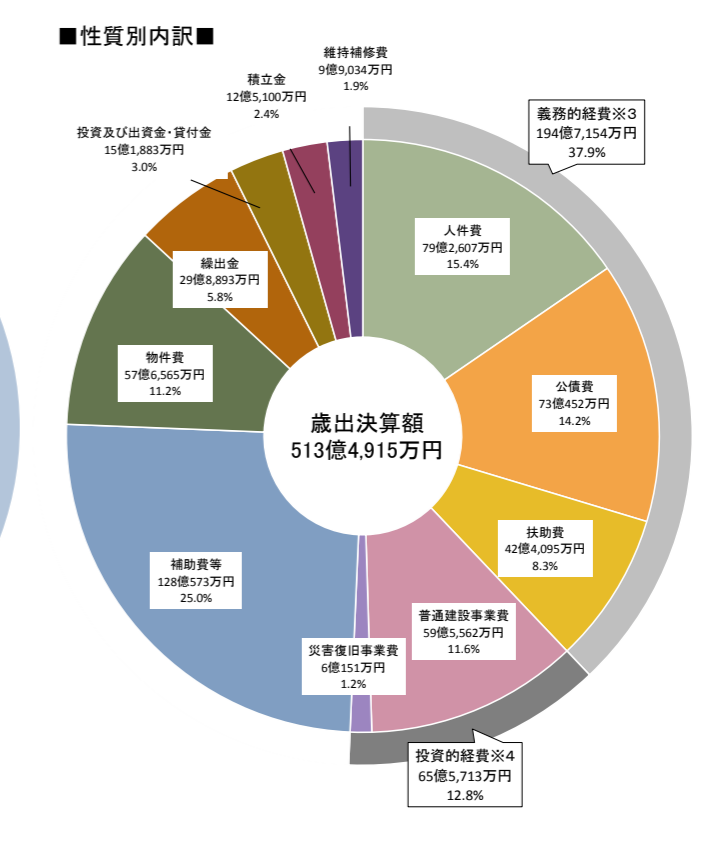
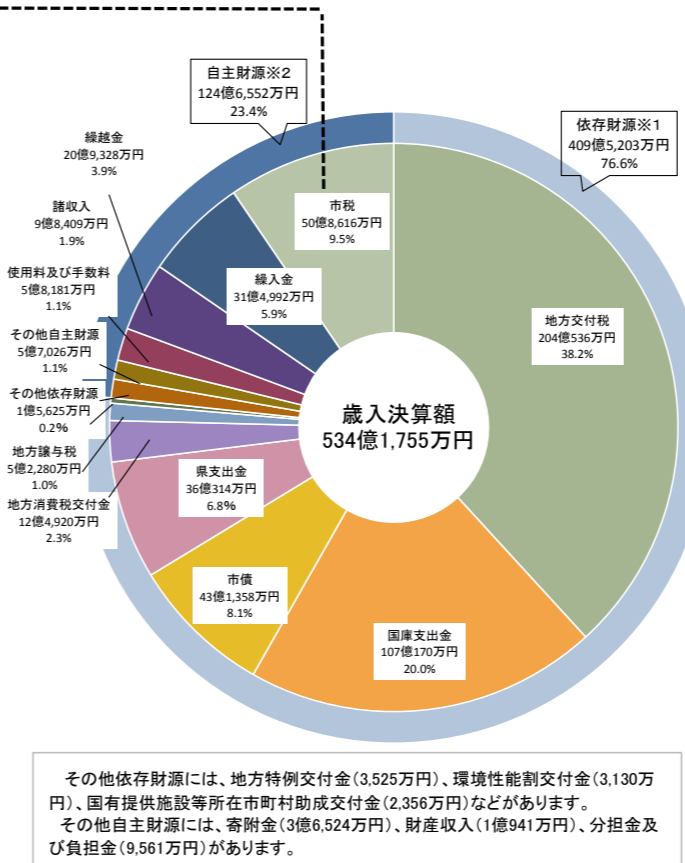
皆さんから納めていただいた税金などがどのように使われ、どのように財政が運営されているのかを知ってもらうために、市では毎年2回財政事情を公表しています。

◆一般会計

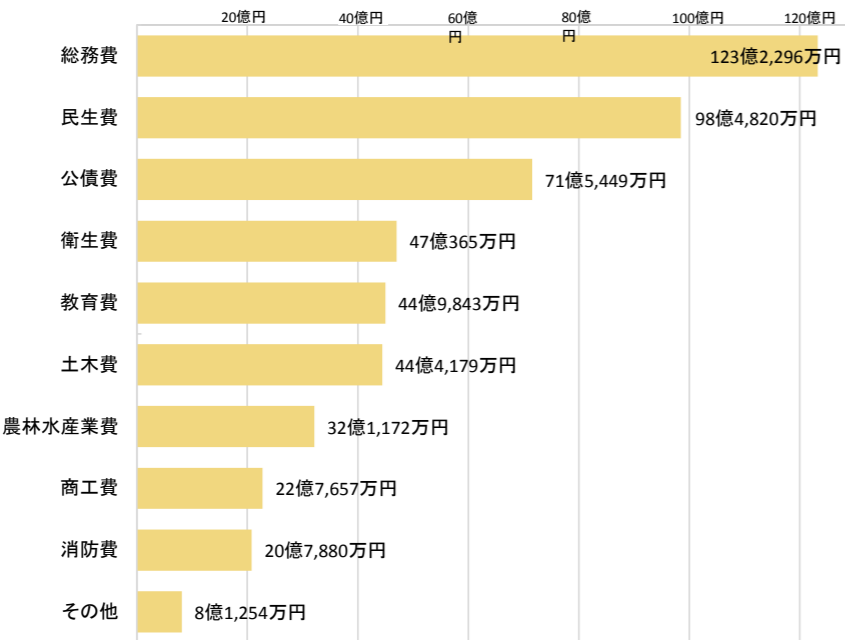
一般会計の決算額は、歳入が534億1,755万円、歳出は513億4,915万円となりました。形式収支(歳入歳出差引)は20億6,840万円の黒字となり、ここから翌年度へ繰越すべき財源8億4,296万円を差し引いた実質収支は、12億2,544万円の黒字となりました。

＜歳入＞ 前年度に比べ77億2,573万円増額となりました。

＜歳出＞ 前年度に比べ77億5,062万円増額となりました。



■目的別内訳■ 歳出は、目的別(どのような分野の行政サービスに使われているのか)からも見ることができます。



- ★総務費・・・行政の運営や市税の徴収、広報紙の発行などに使われたお金です。
- ★民生費・・・高齢者、障がい者福祉や子育て支援の充実などに使われたお金です。
- ★公債費・・・市の借入金返済のために使われたお金です。
- ★衛生費・・・ごみ処理や保健事業などに使われたお金です。
- ★教育費・・・学校教育の充実や生涯学習の推進などに使われるお金です。
- ★土木費・・・道路や住宅の整備などに使われたお金です。
- ★農林水産業費・・・農林水産業の振興などに使われたお金です。
- ★商工費・・・商工業や観光の振興に使われたお金です。
- ★消防費・・・防災や救急活動などに使われたお金です。
- ★その他・・・議会費、労働費、災害復旧費です。

市民一人あたりでは、このくらいのお金が使われました

総務費	23万4,871円	民生費	18万7,703円	公債費	13万6,362円	衛生費	8万9,650円	教育費	8万5,738円
土木費	8万4,659円	農林水産業費	6万1,214円	商工費	4万3,391円	消防費	3万9,621円	その他	1万5,487円

(令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口52,467人で計算しています。)

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など10会計があります。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	60億8,997万円	59億3,709万円	1億5,288万円
後期高齢者医療	8億2,476万円	8億1,207万円	1,269万円
介護保険	92億4,870万円	89億3,872万円	3億998万円
小水力発電	2,270万円	2,270万円	0円
歌代の里	4億8,595万円	4億7,212万円	1,383万円
すこやか両津	6億2,793万円	5億8,211万円	4,582万円
五十里財産区	61万円	11万円	50万円
二宮財産区	112万円	20万円	92万円
新畑野財産区	136万円	133万円	3万円
真野財産区	309万円	253万円	56万円

◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計があります。

○水道事業会計

区分	決算額	
収益的収支※5	収入	31億1,883万円
	支出	27億9,434万円
資本的収支※6	収入	13億7,956万円
	支出	21億3,546万円

○下水道事業会計

区分	決算額	
収益的収支※5	収入	35億2,095万円
	支出	33億2,375万円
資本的収支※6	収入	14億9,430万円
	支出	20億6,975万円

○病院事業会計

区分	決算額	
収益的収支※5	収入	15億4,794万円
	支出	17億8,810万円
資本的収支※6	収入	2億1,493万円
	支出	8,352万円

※5 収益的収支 経営活動で発生する利益とそれに対応する経費です。
 ※6 資本的収支 将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出とその財源となる収入です。

◆市債

市債は、市が大きな事業を実施した時などに借り入れたお金です。

会計名	令和2年度末現在高
一般会計	518億5,884万円
特別会計	すこやか両津 1億9,554万円
公営企業会計	水道事業 134億1,950万円 下水道 186億3,141万円 病院事業 4,899万円

◆市の財産

庁舎、保育園、小・中学校などの建物や土地、市の貯金にあたる基金などの状況は次のとおりです。

区分	令和2年度末現在高
土地	73,753,818㎡
建物	550,474㎡
山林	61,749,737㎡
有価証券	4億2,506万円
基金※7計	181億7,612万円

※7 基金 特定の目的のために積立で、準備しておく資金のことで、「教育文化振興基金」、「トキ環境整備基金」などの基金があります。

性質別分類

- ★公債費・・・市の借入金返済のために使われたお金です。
- ★人件費・・・職員給料のほか、議員や非常勤特別職の報酬などに使われたお金です。
- ★扶助費・・・生活保護など社会保障に使われたお金です。
- ★普通建設事業費・・・道路・学校・公共施設などの整備に使われたお金です。
- ★物件費・・・消耗品や備品の購入、各施設の維持管理などに使われたお金です。

商工費	22億7,657万円
■観光地域づくり推進事業 8,576万円 佐渡版DMO(一般社団法人 佐渡観光交流機構)の維持・強化に取組むほか、島内3拠点における観光案内業務、感染予防対策として「佐渡クリーン認証制度」の普及啓発、各種観光指標(入込者数、属性、満足度、消費額等)の調査分析をふまえた観光施策の展開、新たなアクティビティの造成など、観光地域づくりの取組みを推進しました。	
土木費	44億4,179万円
■安全・安心まちづくり事業 1億8,749万円 道路及び河川等の修繕など、主に各集落(地域)からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的なバランスに配慮しつつ早期の工事発注で、市民の生活環境改善及び継続的な雇用の確保を図りました。 高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業を、地元建設業者に請け負わせることで、受注機会も確保しながら業者の更なる地域貢献を促し、高齢化地域の生活環境の維持を図りました。	
消防費	20億7,880万円
■救急救命対策事業 225万円 救命医療の高度化等に対応するため、救急救命士を含む救急隊員の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図るとともに、救急講習を通じて応急手当の普及啓発を図りました。	
教育費	44億9,843万円
■奨学金貸与事業 2億2,916万円 教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに、将来にわたる定住を促すため、奨学金の貸与を行いました。	
新型コロナ対策事業	
■緊急事業継続支援費 4億9,242万円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経営に支障を来した市内事業者に対して、事業継続を支えるため支援金を交付しました。	
■特別定額給付金給付事業 53億7,772万円 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急経済対策として、家計への支援を行うため一人当たり10万円を給付しました。	
■プレミアム商品券発行事業 2億1,674万円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞した市内経済の活性化を図るため、市内の事業所で利用できる40%のプレミアム付商品券を発行しました。	

お問い合わせ 財政課予算係 63-3114

皆さんから納めていただいた大切な税金は、
さまざまな事業で使われています

令和2年度に行った主な事業の取り組みをご紹介します

総務費	123億2,296万円
■防災対策事業 5,683万円 災害時に迅速な職員参集と災害情報の配信を行うため、情報配信一元管理システムを導入したほか、職員が駆け付けずとも避難所の開錠ができるリモート鍵を設置しました。	
■世界遺産建造物保存整備費 2億4,506万円 世界遺産に関連する文化財の保存と活用を図るため、その調査や地形測量、保存整備事業を実施しました。	
民生費	98億4,820万円
■さわた子育て支援施設整備事業 4,298万円 施設の老朽化及び環境改善のため、佐和田児童クラブ及び子育て支援センターを佐渡中央会館内に移転する工事を行い、佐和田地区の子育て支援の充実を図りました。	
衛生費	47億365万円
■医療・介護・福祉の人財育成事業 9,562万円 市内における医療技術者を確保するため、市内の医療機関に従事する意思があり、医療技術者養成校に進学する学生への奨学金の貸与、及び看護師等の医療技術者への就業・定着支援事業を行いました。	
農林水産業費	32億1,172万円
■集落営農・担い手支援事業 4,861万円 生産基盤確保のため、国県補助事業を積極的に活用し、農業用機械等の導入、農地の集積及び新規就農者などへ支援を行いました。	